

学科名	薬学科/薬科学科	区分	選択	担当教員	薬学研究科教員				
授業科目名	医薬品開発プロジェクト演習I								
英訳	Pharmaceutical R&D Exercise I								
配当年次	3	単位数	1	開講期	集中	曜時限	前期	授業形態	演習
<b>(授業のテーマと目的)</b>									
<p>製薬企業において実際に開発に成功した代表的医薬品を題材にし、探索研究から臨床研究医薬品候補の決定までのプロセスを仮想的に体験する。学生少人数からなるグループを仮想開発プロジェクトチームとして組織し、研究会議・製品開発会議での討議を通してグループ内で最善と思われる解決方法を導く訓練を行う。それにより、創薬に関して必要な知識・発想法・調査法・討論法を取得する。</p>									
<b>(授業計画と内容)</b>									
<ol style="list-style-type: none"> <li>ある疾病を題材に、現状調査を行い新規創薬プロジェクトの設定をする（企画会議）。</li> <li>マーケティング調査、特許調査を行う（企画会議）。</li> <li>薬力学アプローチにより最適な薬理評価系を討議する（研究会議）。</li> <li>医薬リード化合物の選定を討議する（研究会議）。</li> <li>医薬リード化合物の合成ルートを討議する（研究会議）。</li> <li>安全性試験・最適化のデータをもとに非臨床試験サンプルの決定をする（研究会議）。</li> <li>薬物動態データをもとに製品開発に際しての問題点を抽出する（製品開発会議）。</li> <li>適切な製剤化法・薬物投与法を討議する（製品開発会議）。</li> <li>大量製造法を提案する（製品開発会議）。</li> <li>問題点を整理し、臨床試験サンプルを決定する（製品開発会議）。</li> <li>与えられた課題に対して、詳細に調査する能力を醸成する。</li> <li>新たな課題を多角的に見出す能力を醸成する。</li> <li>他の講義で習得した知識を横断的・統合的に結びつけ、薬学に対する理解を深化させる。</li> <li>異なる意見、対立する意見を尊重し、討論を通してよりよい意見をまとめる。</li> <li>発表やレポート作製を通して、自分の意見を相手に効果的に伝える技能を修得する。</li> </ol>									
<b>(成績評価の方法)</b>									
出席70%、レポート30%。授業態度を加味。									
<b>(コメント)</b>									
<p>製薬企業ならびに関連職（産・官・学）に従事を希望する学生には非常に重要な演習です。予習、討論、問題提起など能動的な態度で演習に取りくめる学生対象です。臨床開発まで興味のある学生は、医薬品開発プロジェクト演習IIの継続的受講を薦めます。</p> <p>受講希望者多数の場合は抽選により受講者を決定する可能性があります。</p>									
<b>(教科書)</b>									
なし									
<b>(参考書等)</b>									
<p>創薬 20の事例にみるその科学と研究開発戦略（丸善）</p> <p>その他、授業の中で適宜紹介します。</p>									
<b>(本講義と関連する講義)</b>									
医薬品化学・新薬論、医薬品開発プロジェクト演習II									
<b>(対応するコアキレム一般目標)</b>									
C3(1)、C6(2)、C9(1)、C13(1)、C13(5)、C16(1)、C17(1)、C17(2)、C17(3)									
<b>(オフィスアワー)</b>									
事前に電話してください（内線 ）。									